

看護管理学方法論	4年・後期	1単位	准教授 鎌田由美子
科目カテゴリー	看護の統合	科目ナンバリング	34121104

1. 授業のねらい・概要

統合実習などの体験や卒後の看護実践の様々な事例を通して看護管理の基礎知識や諸論理を「活用する力」と看護管理の諸問題を「思考する力」を付ける。

2. 到達目標

1. 看護マネジメントの基本について理解することができる。
2. 社会ニーズ、患者ニーズと看護サービスを関連づけて考えることができる。
3. 看護管理上の課題を見出し、問題解決プロセスと問題解決技法の基本について理解する。
4. 看護職が置かれた現状課題について理解することができる。

3. 授業の進め方

授業は講義・演習によって行う。事例や文献を読み、講義から得た基礎知識や理論を活用してグループディスカッションをし、学生の主体的な取り組みを期待する。

4. 授業計画

1. 看護マネジメント論（鎌田由美子）
2. 看護政策論（鎌田）
3. サービス化社会と看護サービス
 - ①社会ニーズと患者ニーズから考える看護サービスの在り方（鎌田）
4. サービス化社会と看護サービス ②論理的思考と問題解決技法（鎌田）
5. サービス化社会と看護サービス ③マーケティングの基礎知識（鎌田）
6. リーダーシップ論（鎌田）
7. ケーススタディ①（鎌田）
8. ケーススタディ②（鎌田）

5. 成績評価の方法・基準

定期試験（80%）、講義・演習への参加態度、レポート（20%）によって総合的に評価する。

6. テキスト・参考文献

- 1) 看護の統合と実践 ①看護実践マネジメント／医療安全 メヂカルフレンド社
- 2) 深澤優子他：20代ナースに伝えたい職業人の心得

ほか、授業中に随時紹介、資料を配布する。

7. 準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な学習内容

- 1) 統合実習体験や情報として得た看護実践の疑問点・課題をまとめておくこと。
- 2) テキスト2) について読み、感想・疑問をまとめておくこと。

8. 受講上の留意事項

授業中の態度（10%）、定期試験（90%）を総合して評価する。

9. 課題に対するフィードバックの方法

必修科目であり、修得できない場合進級不可となる。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

選択科目である。